

Subject	Japanese Society and Culture A
Day/Period/Place	Fall Semester Tue 1 川北キャンパスA303
Categories	General Education Subjects - Expansion Subjects-
Credit(s)	2
Object	全
Instructor (Position)	副島 健作 所属:高度教養教育・学生支援機構
Term	2/4/6/8セメスター
Course Numbering	ZDG-GLB803J
Language Used in Course	Japanese

Class Subject	【展開ゼミ】日本語の多様性を考える-国際共修ゼミ-																			
Object and Summary of Class	日本語のおもしろい現象、とくにことばの多様性の問題について、実際に身の回りで使われている日本語の観察をとおして様々な日本語の姿に気づき、言語をより深く調査、分析する視点を身につける。また、そこに見られる日本の社会問題や日本人の意識について留学生・日本人の受講生間意見交換をしながら考察し、理解を深める。																			
Goal of Study	1) 日常よく耳にする様々な日本語の現象について書かれた論文を批判的に読める。また、その内容にたいしていろいろな角度から意見を論じることができる。 2) 社会の中で生きる人間、またはその集団とのかかわりにおいて、日本語の現象や運用のあり方をとらえ、説明ができる。 3) 日本の社会問題や日本人の意識について説明できる。																			
Contents and Progress Schedule of the Class	<p>原則、Google Classroom を使用したオンライン授業。一部対面での講義も検討。 クラスコード: n3tf3ok</p> <p>授業内容と方法 クラス活動 1) いろいろなトピックについての日本語の現象を観察し、内容を客観的に把握する。 2) 内容について、ディスカッションする。</p> <p>発表者が行うこと 1) 身の回りの面白そうな日本語の現象を見つけて、クラスで紹介する。 2) お気に入りの日本語の表現をクラスで紹介する。</p> <p>進度予定 (内容は時事によって変わる可能性があります) 第1回 女のことば・男のことば 第2回 若者ことば・キャンパスことば 第3回 ことばのデフォルメ 第4回 東の方言・西の方言／気づかれにくい方言 第5回 新しい方言・古い方言／方言と共通語 第6回 ことばの切りかえ／敬うことば・へりくだることば 第7回 上品なことば・下品なことば／忌避することば・慶申のことば 第8回 発表・ディスカッション (1) 第9回 サービスのことば／喜怒哀楽のことば 第10回 話しことばと書きことば (音声編)／話しことばと書きことば (文字編) 第11回 論文・レポートのことば／メール・ネットのことば 第12回 マンガ・雑誌のことば／ゆれていることば 第13回 化石化したことば／非母語話者の日本語 第14回 やさしい日本語 第15回 発表・ディスカッション (2)</p>																			
Evaluation Method	発表をはじめ授業への積極的な取り組み姿勢を重視し評価するほか、取り上げられたトピックに関する期末試験も行い評価をする。発表(30%)、受講態度ほか(30%)、期末課題(40%)																			
Textbook and References	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>Title</th> <th>Author</th> <th>Publisher</th> <th>Year</th> <th>ISBN/ISSN</th> <th>Classification</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>『ケーススタディ 日本語のバラエティ』</td> <td>上野智子ほか編著</td> <td>おうふう</td> <td>2005</td> <td>4273033925</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						No	Title	Author	Publisher	Year	ISBN/ISSN	Classification	1.	『ケーススタディ 日本語のバラエティ』	上野智子ほか編著	おうふう	2005	4273033925	
No	Title	Author	Publisher	Year	ISBN/ISSN	Classification														
1.	『ケーススタディ 日本語のバラエティ』	上野智子ほか編著	おうふう	2005	4273033925															
URL																				
Preparation and Review	普段から積極的に日本語の現象を観察し、日本語を客観的に理解する努力をする。発表の際は事前準備として、言語現象を選び、その背景となることやキーワードについて調べ、スライドにまとめるとともに、内容をしっかり理解しておく。																			

 Practical business	
 Students must bring their own computers to class [Yes / No]	<p>不要。発表はプロジェクターを使用するため、発表時のみPCを持参する。</p>
 Contact	
 In Addition	<p>クラスコード: n3tf3ok</p> <p>留学生・日本人学生共修の少人数授業を実施して国際理解教育の推進、キャンパスの国際化を図る「国際共修ゼミ」科目の1つである。討論による対話形式を毎時間取り入れるので受講者の積極的な参加、取り組みを期待する。授業進行過程での質問、意見、要望などはメールを通して受け付け、学生個々人との対話も重視する。 講義は川内北キャンパス講義棟で行う。 2年生以上の履修も推奨。授業は日本語で行う。</p>
 Last Update	<p>2020/09/16 11:15</p>